

かがやき

題字／旭岡聖順

第7回わいわいギャラリー

平成30年11月18日



第2部
マリアージュ仙水でのギャリートーク



第1部 吉本義人氏のアトリエ見学

「金属でもこんな柔軟な造形ができるのか」アトリエで製作者の話を聞きながら、見学者は驚きます。佐野市役所のモニュメント「記憶としての構造－2015」の制作者 吉本義人氏のアトリエ見学での一コマ。

「時を刻む彫刻 彫刻は時空を超えて」のテーマのもと氏のアトリエ見学を含めて第7回わいわいギャラリーを実施しました。

今回は事業団の市民サポーター「文化サロンさの。」が企画から運営までを自主的に行い、新しい切り口でアーティストに向き合いました。

当事業団では、芸術・文化に関する人材の育成事業をこれからも展開して参ります。

主な記事

- 理事長あいさつ 佐野正行 1
- 識者コラム 林 香君 2
- 平成30年度事業報告 3
- 令和元年度事業計画 4
- 平成30年度助成事業の紹介 5

- 美術館・博物館へ行こう 6
- 令和2年度助成事業募集 6
- これからの事業 (裏表紙)
- イベント応募方法 (裏表紙)

理事長あいさつ

公益財団法人
佐野市民文化振興事業団

理事長 佐野 正行

市民の皆様には、日頃より当事業団の事業につきまして、ご理解・ご協力をいただき誠にありがとうございます。ここに令和元年度の団報『かがやき』をお送りいたします。

当事業団は、芸術・文化の振興や文化的環境の向上による潤いと活力のある地域社会創造という目標を掲げ、各種事業に取り組みしております。昨年度も巻頭に掲載した「わいわいギャラリー」事業をはじめ、諸事業を計画通り実施することができました。その中でも例年、人気の高い「演劇鑑賞教室事業」につきまして、歌舞伎に加え、新たに「文楽鑑賞教室」を開催し、多数の応募をいただきました。こちらは直に本物の古典芸能に触れ、学ぶ機会を提供できる事業として、好評をいただいております。

今年度につきましても、超低金利下での債券運用による限られた予算ではありますが、創意工夫を凝らして、概ね例年通りの事業計

画となっております。現在、実施・提供している事業メニューは、一定のご支持をいただき、効果を挙げておりますが、事業活動の原資獲得と併せて、事業内容の見直しを検討する時期にあると考えております。

折しも、「平成」から「令和」に元号も改まりまして、新しい時代を迎えております。その中で文化や芸術を取り巻く環境は、決して順風満帆とは言えませんが、経済的な閉塞感や少子高齢化といった状況下にあっても、時代に即した芸術・文化の振興を模索していく必要性があると感じております。

今後も公益財団法人としての使命を認識しつつ、公益事業の効率化や市民の芸術・文化活動の振興に努めてまいります。市民の皆さまには、当事業団の活動に對しまして、より一層のご支援・ご協力をいただきますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

貸借対照表

平成 31 年 3 月 31 日現在 (単位: 円)

科目	金額
I 資産の部	
1. 流動資産	3,574,890
2. 固定資産	
(1) 基本財産	503,580,139
(2) 特定資産	421,813,425
(3) その他固定資産	20,010,001
固定資産合計	945,403,565
資産合計	948,978,455
II 負債の部	
1. 流動負債	0
III 正味財産の部	
1. 指定正味財産	899,863,095
(うち基本財産への充当額)	503,580,139
(うち特定資産への充当額)	396,282,956
2. 一般正味財産	49,115,360
(うち基本財産への充当額)	0
(うち特定資産への充当額)	25,530,469
正味財産合計	948,978,455
負債及び正味財産合計	948,978,455

事業報告については、3・4ページに記載



5月30日 定時評議員会風景

子どもたちの未来

美術家・陶芸家
林 香君
はやし か くん



「遊び集団」↓「学習集団」↓「創造集団」
遊び・学習・創造の三つ巴は、子どもたちの無限の可能性を引き出す。

壁画プロジェクトはクリエイティブブレイン・ボープロジェクトの中心的な活動であり、常識的な基準値とは違う飛躍がそこに産まれる。こどもの力を結集して壁画という見える形にしている。佐野市民文化振興事業団の主催で、4つの児童館で子どもたちと制作を進めている。事業団の力で創造のための環境を創り出すことが子どもたちの未来を切り拓く大きな力になっている。

「ITと人間力の競争！」

未知の不安感と期待感が混在する社会。未来を想像できない大人の疲弊感を直感的に漠然と受け取ってしまうのが子どもである。そして、その中で独創性ある新しい視点を要求されようとも、それは一夜では得ることが出来ない力である。しかし、このプロ

ジェクトに立ち現れる作品群が証明している。「だけれども天分として持っている力があることを・・・」

人生初の「芸術の領域」に足を踏み入れる体験 2004年に始まった

2011年の東日本震災が宮沢賢治作品の壁画にたどり着ききっかけになり、一挙に制作が加速し、3.6m×90cmの壁画は、佐野市の西児童館で70作品目になる。宮沢賢治の示唆に富んだ文章を読み解き、感動を拾い上げること、考えを選びすぎることに、アイデアを磨き上げること、そして、大切に愛でること、だれかを癒すこと、みんなの心を繋ぐこと、互いに愛おしむこと、・・・これらのことが短い僅かな時間の中で、柔軟にそしていつの間にか自然に子どもたちを『創造集団』に変貌させていく。固定観念をまだ持たない子どもたちの天性を作品化させていくことは、大きな意義・価値を持つ。

「創らなければ存在しない！」

子どもたちは自ら環境を変えられない。みんな協力して一つのことを仕上げていく体験の意義は大きい。短時間ではあるが集中力と協力、子どもたちの脳と手と心の合致点が作品である。

子どもたちの天分を形にしていけることができるのは、大人が創造の環境を作ることである。

【略歴】 林 香君 (はやし か くん)

美術家・陶芸家・文星芸術大学名誉教授

栃木県在住。1978年東京藝術大学卒業後、国内外の展覧会や調査研究、シンポジウム等に積極的に参加され、多数の賞を受けている。作家としての活動のみならず「芸術教育」についての発信・実践にも精力的に取り組まれている。そのプログラムの一つである「壁画アートプロジェクト」について、事業団では2017年から講師として指導をいただき、これまでに3点の壁画を児童館の子どもたちと制作している。



「やまなし」の壁画で存在感のある大きなカニ



子どもたちは制作の中で自然に役割を見出していく

平成30年度事業報告

**当事業団は主催・助成事業並びに事業の後援を21件行いました
これらの事業に参加並びに鑑賞等された方は、のべ約7,000人でした**

自主事業 (主催事業)

◆演劇鑑賞教室事業

◆歌舞伎鑑賞教室

内 容 歌舞伎『にほんふりそではじめ日本振袖始』の鑑賞
期 日 平成30年7月4日(水)
場 所 国立劇場(東京都)
参加者 80人
参加者負担金 6,000円



歌舞伎鑑賞教室

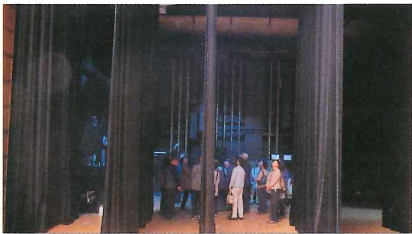
◆文楽鑑賞教室

内 容 文楽『菅原伝授手習鑑』の鑑賞
期 日 平成30年12月6日(木)
場 所 国立劇場(東京都)
参加者 40人
参加者負担金 5,000円

◆企画展共同開催事業

◆美術鑑賞・舞台裏方ツアー

内 容 市内の美術館等をまわるバスツアー。あくとプラザでの舞台見学と操作体験も実施
期 日 平成30年11月13日(火)
場 所 佐野東石美術館、吉澤記念美術館、安藤勇寿「少年の日」美術館、葛生あくとプラザ
参加者 25人
参加者負担金 1,000円



舞台裏方ツアー

◆モニュメント活用事業

内 容 モニュメントを活用した『屋下がりのフラメンコと大人のロック』を開催
期 日 平成31年3月21日(木)
場 所 佐野市役所南側モニュメント周辺
出演者 艱難辛苦、サンセレッソ
参加者 150人



モニュメント活用

◆壁画アートプロジェクト

内 容 宮沢賢治『やまなし』の物語を子ども達が協力して壁画として表現するアート制作体験
期 日 平成30年8月6日(月)、7日(火)
場 所 佐野市西児童館
講 師 林香君(文星芸術大学名誉教授)
参加者 24人
⇒詳細は2ページ参照

◆芸術・文化に関する人材育成事業

◆子ども演劇サマースクール

期 日 平成30年7月26日(木)、27日(金)
場 所 葛生あくとプラザ
講 師 加納朋之(文学座)ら俳優7名
参加者 22人



演劇サマースクール

◆アートマネジメント講座

内 容 「アートでつむぐ、未来のまちのカたち」というテーマで、アートマネジメントの手法を学ぶ
期 日 平成31年3月9日(土) 10日(日)
場 所 市民ギャラリー
講 師 松井憲太郎(富士見市民文化会館長)
参加者 15人

・関連事業

第7回わいわいギャラリー
期 日 平成30年11月18日(日)
場 所 吉本義人氏アトリエ ホテルマリアージュ仙水
ゲスト 吉本義人(彫刻家)
聞き手 松井憲太郎(富士見市民文化会館長)
参加者 62人
⇒詳細は表紙参照

共通事業

◆事業団報

『かがやき』第24号の発行

部 数 市内全戸配布
(46,000部)



助成事業 ◆芸術・文化活動助成事業

◆全日本写真連盟 佐野支部
創立45周年記念写真展

期 日 平成30年7月20日(金)~27日(金)
場 所 佐野市役所 市民活動スペース
助成額 100,000円
⇒詳細は5ページ参照

◆天命鑄物伝承保存会
天明(命)鑄物の伝統技術資料保存と継承活動

期 間 平成30年4月1日(日)~12月31日(月)
場 所 佐野市中央公民館等
助成額 100,000円
⇒詳細は5ページ参照

◆芦哇獅子舞推進委員会
芦哇獅子舞練習用笛購入

期 日 平成31年3月2日(土)
内 容 市指定無形民俗文化財「芦哇の獅子舞」の練習用笛購入
助成額 10,000円

後援事業

平成30年度は、10事業を後援しました	開催日	主催者名	参加者
R293美術展2018「両毛の眼」	2018 5/12～27	佐野市文化会館	446
第113回記念日本水彩画会 安足支部展	8/31～9/2	公益社団法人日本水彩画会安足支部	754
佐野市民合唱団“Voice” 第21回定期演奏会	9/ 9	佐野市民合唱団“Voice”	800
第3回佐野少年少女合唱団 ♪dolce♪ 定期演奏会	10/ 8	佐野少年少女合唱団 ♪dolce♪	321
佐野市民文化祭・さの演劇塾第9回公演「ゴジラ」	10/20・21	さの演劇塾、佐野市、佐野市文化協会	514
第10回さのクラシックコンサート 新井祐子ピアノコンサート ～ピアノとオーケストラによる華麗なる饗宴～	10/21	佐野市文化会館	720
第26回佐野第九演奏会	12/23	佐野市民合唱団“Voice”、公益財団法人群馬交響楽団	692
第114回日本水彩画会 安足支部展	2019 1/23～27	公益社団法人日本水彩画会安足支部	950
第13回佐野新人演奏会	1/27	佐野ユネスコ協会	210
第7回佐野市民文化振興大会	2/16	佐野市文化協会	350

※令和元年5月10日、30日に開催された、令和元年度第1回通常理事会及び令和元年度定時評議員会において、上記記載の平成30年度の事業報告及び収支決算（1ページに掲載）等が承認されました。

令和元年度事業計画

「すべての市民が優れた文化環境のもとで、潤いと活力のある生活を営める地域社会の実現」を目的に、佐野市民の芸術・文化活動の振興を図るため、次の事業を行います。

自主事業（主催事業）

❖演劇鑑賞教室事業

- ❖歌舞伎鑑賞教室（7/4）**開催終了！**
国立劇場「7月歌舞伎鑑賞教室」を鑑賞
- ❖文楽鑑賞教室（12/6）
国立劇場「12月鑑賞教室」を鑑賞
⇒詳細は裏表紙へ

❖芸術・文化に関する人材育成事業

- ❖子ども演劇サマースクール
7/22～24の3日間開催 **開催終了！**
- ❖アートマネジメント講座
及び「わいわいギャラリー」
⇒詳細は裏表紙へ

❖美術品展示及び鑑賞開催事業

- ❖美術鑑賞・舞台裏方ツアー
⇒詳細は裏表紙へ
- ❖壁画アートプロジェクト
8/7～8の2日間開催

開催終了！

共通事業

- ❖事業団報『かがやき』の発行 令和元年9月1日発行、市内全戸配布
- ❖広報誌・インターネットの活用
事業のPRのために、市の広報誌や、新聞、ケーブルテレビ等を活用し、積極的に市民への情報提供を行うほか、ホームページの充実を図り、事業・イベント情報を随時発信します。
URL: <http://kagayaki.sanocity.jp/>

助成事業 今年度は1団体へ、10万円の助成事業を展開しています

秘宝エラスムス立像に学ぶ会

創立3周年記念事業

「エラスムス立像と共に歩む（仮称）」

郷土の文化遺産であり、国の重要文化財「木造エラスムス立像」の継承・周知を目的に設立された会の3周年にあたり、記念事業を11月9日（土）に実施する予定。



エラスムス立像（模刻）

江戸時代初期から上羽田町の龍江院観音堂に安置されていたもので現在は国の重要文化財に指定され、東京国立博物館に寄託。
左写真は、佐野市出身の彫刻家で、「佐野ふるさと特使」でもある笹川むもん氏が制作したもの。

後援事業

事業名（7月31日時点）	開催日	主催者名	お問合せ
佐野市文化会館40周年記念 R293美術展2019「再起動」	5/11（土）～5/26（日）	佐野市文化会館	24-7211
ダ・カーポ45周年記念コンサート ～ただいま！ふるさと～	9/28（土）	佐野市文化会館	24-7211
第4回佐野少年少女合唱団 ♪dolce♪ 定期演奏会	10/14（月祝）	佐野少年少女合唱団 ♪dolce♪	24-0100
さの演劇塾第10回公演「ケンジ先生」	10/19（土）、20（日）	さの演劇塾、佐野市、佐野市文化協会	090-2227-4179
第11回さのクラシックコンサート 鈴木明博とその仲間たち ～ファゴット&オーケストラの魅力～	11/24（日）	佐野市文化会館	24-7211

平成30年度の芸術・文化活動への 助成事業を紹介します

全日本写真連盟 佐野支部

創立45周年記念写真展を終えて

私たち佐野支部は、一九七三年全日本写真連盟に加盟発足以来、写真を愛好する仲間との親睦を図りながら、写真技術の向上や地域社会との交流を通して写真文化の向上を目指して活動しています。

この度45周年を機に、貴事業団の活動助成金をいただき、会員が撮り溜めた佐野の身近な絶景と、佐野市文化財課より依頼を受けた文化財写真を、広く市民の皆様を知って頂くための記念写真展を開催することが出来ました。写真展では、佐野にちなんだ絶景八十七点、佐野の文化財所在マップや写真九十六点を展示し、岡部市長をはじめ八百名を超える多くの市民の皆様、関係者にご来場いただき、佐野という街をより深く知って頂くと共に、好評かつ盛大に終了することが出来ました。更に、会員のお気に入りの作品や支部の貴重な歩みをまとめた創立45周年記念DVD作品集（非売品）を発刊致しました。

今後も仲良く楽しい、居心地の良い佐野支部を作り上げていきたいと考えております。写真に興味をお持ちの方は、是非一緒に活動してみませんか？

（文）全日本写真連盟 佐野支部



多くの市民の方に、ご観覧をいただきました。

天命鑄物伝承保存会

天明（命）鑄物は佐野市の代表的伝統工芸品であり、価値ある文化財です。千年余の古い歴史とすぐれた鑄造技術を後世に伝えることを目的として、本保存会が設立されたのは、平成十九年四月でした。

現在、佐野天明鑄物の伝統文化を未来につなぐ「ユネスコ未来遺産登録団体」として、市民をはじめ、一人でも多くの人達に天明鑄物の真価を伝える普及活動および後継者育成活動を進めております。

当会の主な事業は、若林鑄造所に創業以来、遺されてきた天明鑄物の生産用具一式と関連資料の再整理と保管棚の設置など、保存環境の整備から始まりました。その甲斐もあり、平成二十三年四月に資料二千四百余点が「県指定有形民俗文化財」に指定されましたが、更に資料の再整理を進めて、現在は、その電子記録化作業に取り組んでいます。

この間、前記の普及・伝承活動を含めた当会の活動に対し、本事業団から適切なご指導とご支援を頂いており、あらためて感謝申し上げます次第です。

（代表 若林洋二）



受け継がれてきた生産用具の整理・記録化を進めています。

当事業団では、公益事業の一つとして「市民の芸術・文化活動や伝統文化の保存・育成を担う団体に対する助成・支援事業」を実施しております。来年度の事業募集については、6ページに記載しております。

芸術の秋

美術館、博物館へいこう！

佐野東石美術館収蔵木彫名品展
— 生命の輝き —

9月23日(月)～
12月17日(火)



佐野東石美術館

栃木県佐野市本町 2892 TEL 0283-23-8111
<http://www.toseki.com/museum/museum.htm>

第 70 回企画展
「中根東里展」(仮題)

10月5日(土)～
11月24日(日)



佐野市郷土博物館

栃木県佐野市大橋町 2047 TEL 0283-22-5111
<http://www.city.sano.lg.jp/city-museum/index.htm>

牧歌舞伎と
吉澤人形頭展

10月1日(火)～1月26日(日)



佐野市葛生伝承館

栃木県佐野市葛生東 1-11-26 TEL 0283-84-3311
<http://www.city.sano.lg.jp/densyoukan/>

海の化石の
似たもの展

7月20日(土)～
11月24日(日)



ビカリア
(巻貝)



マリエッラ
(アンモナイト)

佐野市葛生化石館

栃木県佐野市葛生東 1-11-15 TEL 0283-86-3332
<http://www.city.sano.lg.jp/kuzuufossil/>

収蔵企画展

あなたに逢いたい

8月31日(土)～
10月6日(日)

アートリンクとちぎ 2019・
日本女性会議 2019 さの開催記念
「創る女たち」
10月19日(土)～12月15日(日)



中山忠彦《挿花》
佐野市立吉澤記念美術館蔵

佐野市立吉澤記念美術館

栃木県佐野市葛生東 1-14-30 TEL 0283-86-2008
<http://www.city.sano.lg.jp/museum/>

ふるさとの詩展

9月4日(水)～
12月25日(水)



安藤勇寿「少年の日」美術館

栃木県佐野市御神楽町 623-1 TEL 0283-67-1080
<http://www.shonnenohi.jp/>

令和2年度

芸術・文化活動

助成金の募集

当事業団では、芸術・文化活動や地域の伝統文化の保存継承を支援します。

地域の特色を活かし、個性豊かな地域文化を創造する事業や指定を受けた無形民俗文化財の担い手育成事業が対象となります。

助成対象は、活動の本拠が市内にある団体で事業を完遂できる見込みがあり、規約や経理が整備されている必要があります。
(なお、企業や学校のサークル・部活動は対象外です)

◆応募期限

令和元年11月28日(木)

◆助成金額

1万円～10万円

◆応募方法

所定の用紙で申請していただきます。

※1万円の助成を受ける場合に限り、「随時」交付申請を受付しております。提出書類が簡略化され、事務局で審査を行うため、交付決定までが迅速です。

詳しい内容については、市内施設等に配布する募集案内をご覧ください。

※お問い合わせ

【問合せ】事業団事務局 佐野市文化立市推進課(佐野市役所3階)

2013044

